

# 副研究科長ご挨拶



## 充実した大学院教育を目指して

中野 由紀子 副研究科長（教育担当）

私は丸山前研究科長のもと、四年間副研究科長として教育の方を担当して参りましたが、今回再任されました。現在の広島大学大学院の問題点としては、期間内での学位授与率が低い事であり、全学でワーキンググループが立ち上げられ検討されました。各研究科で問題点は異なっておりましたが、医学においては、働き方改革や臨床業務との両立が研究時間の減少につながっており、難しい局面に直面しております。今後検討した結果を元に対策を講じて期間内の学位授与率を上げることが必要です。広島大学は多様なプログラムを有する数少ない大学であり、優秀な専門人材を育成する上で大変適した環境にあり、まだまだのびしろもあります。岡村研究科長のもと、少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っております。



## 学際力で未来を拓く ―新たな連携と研究環境づくりに向けて―

古武 弥一郎 副研究科長（研究担当）

この度、大学院医系科学研究科の副研究科長（研究担当）を拝命いたしました。本研究科は医学・歯学・薬学・保健学という多様な分野を有する全国でも有数の医系総合研究科として、学際的な融合研究の推進に取り組んできました。今後この多分野の強みをさらに活かし、分野横断的な連携を深化させるとともに、次世代を担う若手研究者の育成に力を注ぎ、安心して研究に専念できる環境づくりに努めてまいります。研究科の研究力のさらなる向上と社会への貢献を目指して努力いたしますので、ご指導よろしくお願い申し上げます。



## 医系科学研究科の特色を活かした教育・研究を

濱田 泰伸 副研究科長（企画担当）

この度、医系科学研究科 副研究科長（企画担当）を拝命いたしました。前副研究科長の時代から、主として多職種連携教育（Interprofessional Education: IPE）に関わっており、IPEは医療の現場だけでなく、さまざまな医療人養成事業においても不可欠で、重要な位置づけになりつつあります。今後は岡村研究科長のもと、IPEをはじめ医系科学研究科の特色を活かしたさらなる企画を立案・発展させていきたいと考えています。引き続きご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 国際化推進の取組を新たな活動のチャンスに

吾郷 由希夫 副研究科長（国際担当）

この度、医系科学研究科 副研究科長（国際担当）を拝命いたしました。本学では、2024年から第3期となる日本・スウェーデン大学間コンソーシアム「MIRAI」に加え、2024年度には「大学の世界展開力強化事業」（5年連続）、「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に採択され、国際化推進に関する様々な取組が進められています。このような機会を活用して、海外留学や外国人学生の受入、国際共同研究等を進めていただけるよう、情報発信や環境整備に尽力したいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。